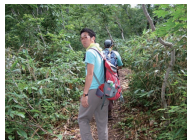


学生の顔を見てしていると楽しい。
それは、いつかの自分を見つめていているから。

瀧野 敦夫

大阪大学大学院工学研究科助手・瀧野 敦夫

ニイジマヒロシの自然体には、何となくあこがれるなあ。
ポクが人生の辛い岐路に立たされたときに、携帯のアドレス帳から一番に検索した名前が「ニイジマヒロシ」。
本人は、シャイガイを演じているが、こゝろ番ではやはり頼りがいのあるロツケンローラ。でもポクは知って
いる。広告会社なんてオシャレなところに勤めているけど、本当は、大学に戻って研究がしたいんだ。そう土木の熱
い血が騒ぐんでしょ？



専門は木質構造、空間構造。最近、積極的に山登りするようになりました（↑言っても、3年前の屋久島以来2回目で...）。来年度、必ずや学位取ります！

瀧野 敦夫 (Atsuo Takino)

1979年8月24日に神戸市舞子にて生まれる。舞子幼稚園、舞子小学校、舞子中学校を卒業後、舞子高校ではなく長田高校に進学。高校時代は、野球に明け暮れる毎日。その後、大阪大学建築工学科に入学。学部を平凡な成績で卒業後大学院へと進学し、研究に目覚め、現在同大学院にて教鞭を持つ傍ら、木造スペースフレームの研究に没頭中。
特技：仕切ること、ポジティブシンキング
好きな歌手：Queenを取う錦織健
好きなこと：歌うこと、食べること、笑うこと

これからも、家族ぐるみで
付き合いをしていきましよう。

加藤 文昭・真央

会社員・主婦

「おめでとございませう。これ以上のお似合いの二人はなかなかないないでしょう。結婚しても二人は何も変わらな
さな。絶対幸せになる夫婦だし、そんな家庭を築いていきたいと思いますよ。」
眼帯姿。当時、新聞はものもらいのために片目に眼帯にきてきた。での衝撃の出会いから、早や9年が経つと
ししている。大学時代から、ずっと新島（宏）の敬子に対する愛慕は変わらなかった。広島弁のダメだしから始
まり、ドラーメへの挑戦（即断念）を強いられることから始まり、勉強やサッカー、今でも飲み仲間といった関係
が続いている。大学の同期には僕が結婚が一番早いと思っていました。今でも同じ大卒ということで、家にも来
てもらい、よい友人関係は続いている。



（写真 休日、近くの公園で愛する理功（りく）と）
2006年5月末に、第一子が誕生。周り人達からも喜びの声をもらい、日々の成長を楽しみにしている。週末は散歩や公園に出かけたり、子どもとの時間を作っている。「子どもは、本当にかわいいですよ。」

加藤 文昭・真央 (Fumiaki/Mao Kato)

1979年4月28日生まれ。広島県出身。加藤家三男として生を受ける。
幼少時代は、元気に活発にすごし、順当に義務教育・高校生活を経て、1998年上阪し、大阪大学工学部地球総合工学科へ入学。そこで、新部と出会う。2004年同大学院環境工学科卒業。同年、日本ヒューレット・パッカード株式会社へ入社し上京。現在は法人営業部へ配属となり帰阪。
2004年3月、修士修了直後学生時代より愛する真央さんと結婚。2006年5月には、待望の第一子(理功・男の子)を授かる。育児と仕事に明け暮れる毎日。同期でのキャラクターイメージとしては、スタイルがよい故にモデルとして周囲からカリスマ視される反面、大好きなイヴ・サンローランの（新部曰く）「寝巻」のようなTシャツを着てプレーするスタイルから、華風にサッカー・野球をプレーする実力があるにも関わらず、ファッションセンスが疑われる。前世が「運動神経」と言われるほどスポーツ万能な好青年。



普通の日本人がこれだけドンパレリニオンが似合うだろうか。趣味が続ける、4.0代からのライフスタイルを提案する雑誌「LEON」専属モデルだけに、着こなしに余念がない。写真は、彼が主催するパーティーでの一面。写真は、群を女性をきき分け、カリスマに少しの時間をいたでいてファッションについてご教授を受けている新郎。(皆さん、ごめんなさい！！)
(本当は・・・入社5年目。中国のドサ回りなど、出張ばかり行かれ、丁稚奉公の毎日。)

岩下 智也 (Toshiya Iwashita)

自称1979年1月21日。鹿児島県に生まれる。父親と双子。鹿児島県立鶴丸高校を経て、大阪大学工学部地球総合工学科船舶海洋工学コースに入学。友人たちに数々の伝説を残し、卒業後は収入の良さに目がくらみ(財)日本海事協会に入社。決して表に出ることない船舶の検査を主な仕事とし5年目を迎える。趣味は料理。食べることも作ってもてなすことも大好き。ボンレスハムのような顔を持つが、その手からは料理の鉄人も驚く料理が生まれる。また、取れば外見からは想像できないような、まるで妖精nおような稀代の繊細な義声の持ち主。大学の同期からは、当然のように「お父さん」と呼ばれる。



安く、敬子さんがいつも幸せで笑っていられるように。
ただそれだけが私の願いです。
ひとりではできないことも、共に進めば必ず路は開けるはず。
ふたりの新たな航海はいつか始まったばかり。Bon Voyage...

岩下 智也

(財)日本海事協会 テクニカルマネージャー

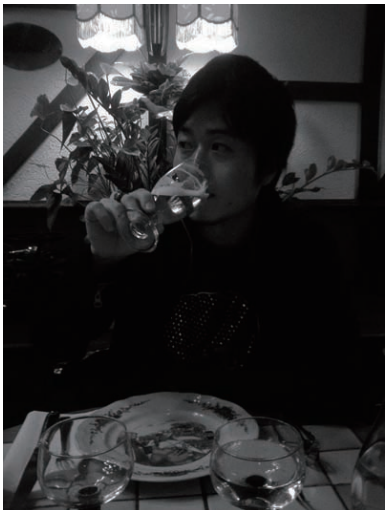
「もてる秘訣？自分ではよくわからぬ。
気になるなら、彼女たちに聞いてみたら？」。



まんまとパリに魅了され、帰国後フランス語を猛勉強し仏検3級を受験。結果は・・・?!ちなみに、左の写真はパリのブラスリーにて。

片桐 勇亮 (Yusuke Katagiri)

1978年5月17日生まれ。大阪府吹田市出身。大阪生まれヒップホップ育ち、悪そうな奴はだいたイトモダチ。新島宏とは高校時代からのマブダチ。高校、大学時代のほとんどを宏と過ごし、その集大成として名曲「闘魂」を作り上げるが、就職を機に上京し、すっかりリアキャラとなる。
いつもざりざりの瀬戸際を楽しむ姿勢からきたのか通称「ギリ」。容姿秀麗ながら、新部から呼ばれるあだ名は梅造（ごんぞう）。そして、新部・新婦とは「ひるたん・けこたん・ごんたん」の仲。
幼少からバイオリンを習い、高校、大学時代はバンド活動に精を出す等、文科系人間のイメージがあるが、最近の趣味はフットサル、ゴルフ、スノーボードともっばら体育会系。特に冬季は毎週末、新潟は越後湯沢近隣のどこかからのグレンデに出没する。オフの生活とは裏腹に、オンではシステムエンジニアを生業とし、日々真っ黒い画面に向かいキーを叩く根暗君。



『確かに、パリは素晴らしいかったです。けど、それが十月のあの日。たならんにかかったらうと思っ。』
2009年秋、僕はパリにいた。でもそれは親友二人の晴れの日ではなく、その約一月前だったのだ。
「ジュ スヌイ デゾレ、イロシ エ ケイコ・・・」。

夏季休暇を十月に取れるよう、なんとか調整したが、どつても難しかった。
後日、多くの方が2人を祝福するために渡したことを聞き、怖さは増すばかり。
その分、今日は借しめない祝福を人に贈るべく、はるばる東京砂漠より帰阪!!

片桐 勇亮

システムエンジニア

高校時代の予備校サボり仲間から始まり、
廃人だったころは、気持ち悪いほど一緒にあったな